



いなみ虹保育園病後児保育室 レインボー通信



No. 91 2024. 10. 11 発行

子どもの脳の発達

子どもの脳には、環境の影響を特に受けやすい、ある限られた特別な時期というものがあるそうです。その環境でよく使われる脳内ネットワークだけが生き残り、あまり使われないネットワークは死んでいく。視覚野・聴覚野は特にその時期が早く、1歳前頃にピークを迎え就学を迎えるころには成熟に達します。そんな大事な時期に、私たちはどのような関わり方をしたらいいのでしょうか？

人間のスゴイ能力「真似」

ヒトは生後数か月で喜怒哀楽の表情を区別できるようになりますが、その段階ではその人の心を「理解」するまでには至っていません。そこに至るための重要なプロセスが「真似」です。ニコリ笑った相手の顔を自分でも真似してみる。その時に乳児は自分自身が笑うという身体経験によって心地よさを感じる。その経験を目の前にいる人の笑顔に鏡のように照らし合わせていくことによって「この人は嬉しいんだ」という心の理解が可能となります。この「真似」ができるのは、霊長類ではヒトだけだそうです。



この時期に、周りの人が例えば「マスク」を付けているとどうでしょうか。口元が全く見えず、子どもは表情を理解したり「真似」することも難しいでしょう。ひいては「心を理解する」ということが難しくなってしまうのではないのでしょうか。大人にとって何気ない行動が、子どもの発達に大きく影響を及ぼす可能性を考えさせられます。

マスク、スマホ・・・大人の「便利」は子どもには？

コロナ禍以降、学校や保育園等では集団感染を予防するために、どうしてもマスクの着用をお願いする場面がありました。しかし、マスクをつけることでのこうしたデメリットについても検討する必要があったのではないかと思います。学校や園では症状がある方のみマスクをする、といった基本的な対策でよいと感染症専門医の方からお聞きすることもあり、多くの情報に惑わされず本当に必要な対策を取捨選択することが必要だと考えます。

マスク以外にも、身の回りには子どもの成長に影響を与える「便利なもの」が沢山ありそうです。スマホ、TV、ファストフード……。大人には良くて、未発達の子どものみにはどうだろう？ 娘たちに使わせ過ぎてしまったかな、と私（筆者）も振り返ると少し落ち込んでしまいますが、少しずつでも向き合っていきたいことだと感じました。



☆ ご予約・お問い合わせ ☆
いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」
住所：兵庫県加古郡稲美町国安1256番地
TEL：079-490-2064（専用電話）
FAX：079-490-6682

* 詳しくは「いなみ虹保育園HP」「稲美町HP」をご覧ください。



編集：篠田

参照：明和政子『マスク社会が危ない こどもの発達に「毎日マスク」はどう影響するか？』